

車内の無線 LAN 届いていますか？

実使用状態の車内無線特性データの準備

実環境での定量的で信頼できる無線特性データを提示し、納品後のトラブルを抑え、製品の信頼を高めるために。

ワイヤレスコネクティビティテストセット MT8862A

車内エンタテインメントシステムで提供される車内サービスを支える無線 LAN の重要性は、今後いよいよ増してきます。高品質で安定した車内サービスを提供するためには、通信モジュール単体の性能データだけではなく、製品に組み込まれた完成品状態かつ実際に使用する実使用環境での定量的なデータを求められるようになることが予想されます。

MT8862A で実現できる定量的な無線特性データ取得のための 3 つのポイント

1. 標準の無線 LAN コネクションを利用して測定可能なネットワークモード測定

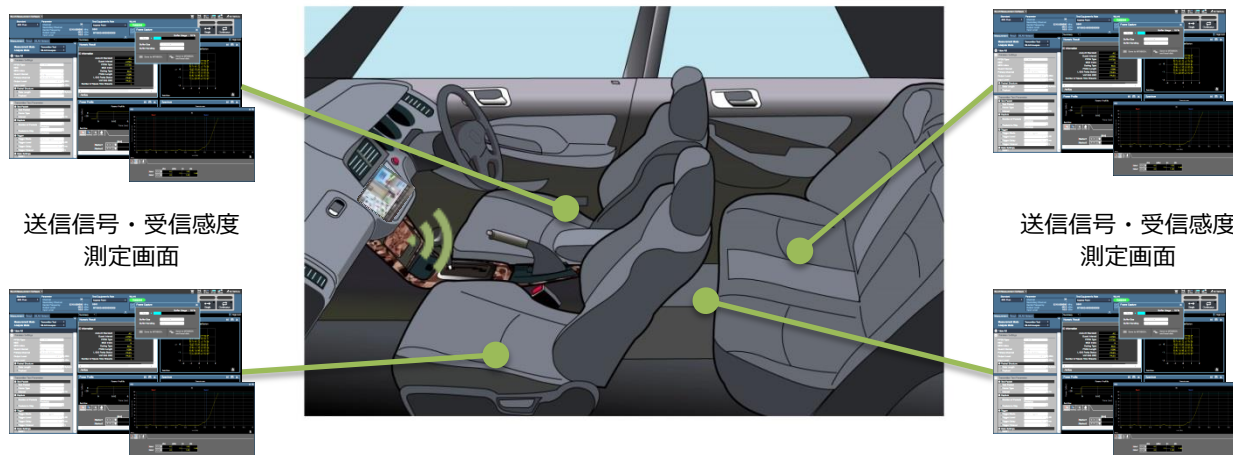
無線 LAN モジュールを組み込んだ完成品状態および実使用環境で定量的な試験が行えます。そのため無線 LAN モジュール単体での評価はもちろん、そのモジュールを製品に組み込んだ状態での評価も可能です。

2. ネットワークモード測定を支える幅広い接続性サポート

MT8862A は IEEE802.11a/b/g/n/ac について、アクセスポイント、ステーションのどちらにも接続可能。さらに、セキュリティを OFF にできない製品についても、セキュリティを使用した状態で接続し、測定できます。

3. 問題発生時の解決を助けるフレームキャプチャ機能と IP データ送受信ポート

MT8862A にはフレームキャプチャ機能がついており、接続や測定に問題があった場合に、問題切り分けのためのログが取得できます。また、IP データ送受信ポートにより、接続確認や任意 IP データを使用した際の Tx 測定なども行えます。

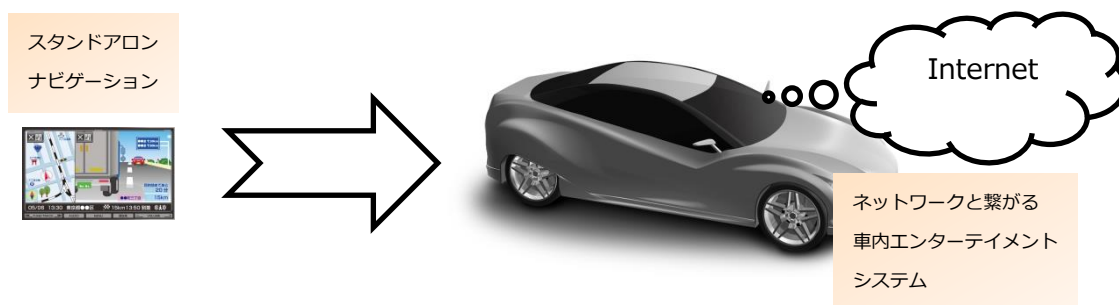


車内環境での測定結果イメージ図

Passenger Economy の拡大により、これを支える無線 LAN 品質への要求は高まります。
実使用状態での定量的で信頼の置けるデータを提示し、製品の信用を確かなものに。

車内無線 LAN 品質について、実使用環境を含む製品としての総合的な無線性能データの準備が必要となります。

これまで無線 LAN は独立したナビゲーションシステムの付加機能でしたが、車内エンタテインメントシステムの高度化にあたり車内サービスを支える重要な通信になり、自動運転で広がる Passenger Economy の根幹となる車内サービスを支えることとなります。車内サービスで生み出される多大な価値を確かなものにするため、モジュールレベルでの確認だけでなく、モジュールが組み込まれた製品を実際に使用する環境での総合的な無線性能データを求められた際の準備が必要です。



MT8862A を使う 3 つの理由

1. すぐにセットアップ完了

MT8862A は無線 LAN 通常接続で測定系が組めるため、DUT に対して評価用特殊 Firmware 搭載が不要となり、コスト削減ができます。http 対応 OS・ブラウザから MT8862A は制御可能です。



2. 再現性のある評価環境

Packet Error Rate (PER)で示される受信感度測定等、アクセスポイントでは実現できない最適な再現性のある評価環境を提供します。



3. 簡単に解析

フレームキャプチャ機能により、接続・測定の問題発生時に Wireshark で解析が可能。問題の切り分けを行うことで、解決コストを削減します。

